※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１４

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	第Ⅰ学年	・桐原書店「FACTBOOK English Logic Expression Ⅰ」 ・桐原書店「総合英語 FACTBOOK これからの英文法[NEW EDITION]」 ・桐原書店「総合英語 FACTBOOK English Grammar Standard [NEW EDITION]」 ・桐原書店「総合英語 FACTBOOK English Grammar Standard Workbook[NEW EDITION]」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理・表現Ⅰの授業では、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落や文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える能力を養います。コミュニケーションを行う目的や場面・状況を設定し、それに応じた言語活動をペアやグループで多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ②ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	①有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ②簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。	簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	①身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ②身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の特徴やきまりに関する事項、対話の展開の仕方や論理構成について理解している。聞いたり読んだりしたことを活用しながら意見や主張など論理構成や展開を工夫して伝える技能を身につけている。 〈実施方法〉 ・中間考査および期末考査等	コミュニケーションを行う目的や場面状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて論理の構成や展開を工夫して伝えている。 〈実施方法〉 ・中間考査および期末考査等（応用問題等）	外国語の背景にある文化に対する理解を深め聞き手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝えようとしている。 〈実施方法〉 ・活動ワークシート、リスニング問題の取り組み状況等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unit 0	話すこと （やりとり）	a: 動詞・否定文と疑問文、基本文型の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートについて今まで知らなかったことを聞き出すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 c: クラスメートについて今まで知らなかったことを聞き出すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 1	書くこと	a: 時を表す表現の特徴やきまりについて理解している。 b: 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。 c: 展示会についての感想をブログの日記に書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 2	話すこと （発表）	a: 完了形の特徴やきまりについて理解している。 b: 通りを見ながら町並みの変化について、ターゲット文法を用いながら1分間のスピーチをすることができる。 c: 通りを見ながら町並みの変化について、ターゲット文法を用いながら1分間のスピーチをしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
2	Unit 3	話すこと （発表）	a: 助動詞の特徴やきまりについて理解している。 b: 興味のある商品を紹介し、ターゲット文法を用いてその特長を説明することができる。 c: 興味のある商品を紹介し、ターゲット文法を用いてその特長を説明しようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 4	書くこと	a: 受動態の特徴やきまりについて理解している。 b: 道具購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。 c: 道具購入の寄付を募るためのポスターを書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 5	話すこと （やりとり）	a: 不定詞の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートとお互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 c: クラスメートとお互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 6	話すこと （やりとり）	a: 動名詞の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートからの健康・ライフスタイルに関する悩み相談にアドバイスをすることができる。 c: クラスメートからの健康・ライフスタイルに関する悩み相談にアドバイスをしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 7	書くこと	a: 分詞の特徴やきまりについて理解している。 b: 企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。 c: 企業の講演に感想やお礼のメールを書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等

※令和４年度以降入学生用

3	Unit 8	話すこと （発表）	a: 比較級・最上級・原級等の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートに向けておすすめの商品を比較しながら、ターゲット文法を用いてその商品を支持する理由や具体例をあげながら1分間のスピーチを行うことができる。 c: クラスメートに向けておすすめの商品を比較しながら、ターゲット文法を用いてその商品を支持する理由や具体例をあげながら1分間のスピーチを行おうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 9	話すこと （やりとり）	a: 関係詞節とその他の節の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートとお互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 c: クラスメートとお互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Unit 10	書くこと	a: 仮定法の特徴やきまりについて理解している。 b: 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。 c: 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度